

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか			○	狭いと感じているため、活動に合わせて棚や机など移動してスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか			○	午後の時間帯は特に職員が不足していると感じられるため送迎のルートなどを工夫している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差はほとんどなく配慮されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		研修等の報告はしているが、参画までには至っていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			開示していく予定である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部の評価は受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			出来るだけ多く参加できるようにしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談をする機会を設け、保護者からの要望など細かく聞き取りを行っている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			行事の内容や、活動の内容について話し合いを持って取り組んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		利用児童の興味のあるものを取り入れながら工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		スタッフ間で話をしながら取り組みをしているが細やかなところまでできていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児童の状況に応じて活動内容を考慮しながら計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングを実施し情報の共有に努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		個々での話し合いにはなるが、全体となると出来ていない時がある。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用児童の様子を日誌に記録し、改善点があれば策を検討し対応にあたっている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		定期的にできていないため、行えるようにしていきたい。見直しが必要と判断した時は即モニタリングに繋げていきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			ケア会議には、必ず出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎の際に担任の先生と、情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療児童のかかりつけ医を把握するようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			状況に応じて情報交換を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ、移行対象となる児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今後交流の場を設けていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳などで状況報告等を行なっている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者に研修の情報の提供をしている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にきちんと説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談がある時は適切に対応できるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会は行っていない。 保護者参加の行事を取り入れている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			3ヶ月に1度広報誌を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			充分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉使いなど気をつけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	行事に地域の方の参加は取り入れていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルはあるが、個々の確認となっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回避難訓練を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を取り入れていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束が必要な児童の利用がないため。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			面談時にアレルギー等の有無を家族に確認し対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事故報告書に記載している